

建築データ

構造規模 ■ 木造・2階建て、延床面積/117.50㎡(約35坪)  
 主な外部仕上げ ■ 屋根/カラー鉄板瓦葺、外壁/防火サイディング下地 アートウォール仕上、建具/玄関ドア:断熱ドア、窓:アルミ樹脂複合サッシ(Low-E・ペアガラス)  
 主な内部仕上げ ■ 床/ナラフローリング キヌカ塗、壁/珪藻土塗・エッグウォール、天井/スギ羽目板・エッグウォール  
 断熱仕様 ■ (充填断熱)基礎/スタイロエースII 65mm(外側)・25mm(土間下)、壁/高性能グラスウール16kg120mm、天井/グラスウール吹込13kg210mm(桁上)  
 暖房方式 ■ ヒートポンプ式エアコン

- リビングを芯にした、リンゴのような家
- 自然素材と自然エネルギーを活用
- 約35坪のコンパクト設計で省エネ効率アップ

01



近くの木と職人でつくる家づくり

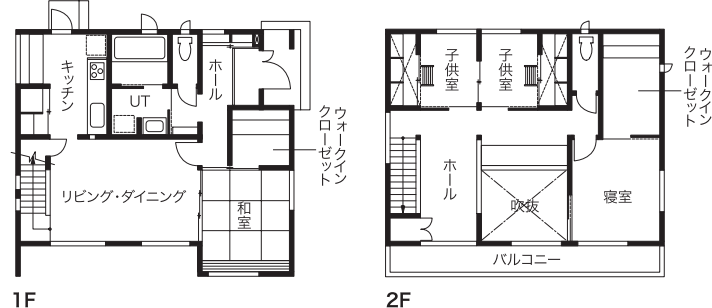
その土地の気候風土に合ったしっかりとした外皮を有し、内部は将来まで快適でみずみずしい「リンゴのような家」。いくつもの部屋が連なるブドウのような家とは対照的に、リンゴの家は吹き抜けのリビングという「芯」が中心。ひとつ屋根の下、どこにいても家族の気配を感じ合える住まいです。

総2階建て・約35坪のコンパクトプランですが、天井高と揃えてスッキリと見える建具や大きな吹き抜けの効果で、実際の面積以上の広がり演出。素材は「近くの木と職人でつくる家づくり」の名のとおり、地域材を積極的に活用しました。床はナラ材の自然塗装仕上げ、壁は珪藻土塗りとエッグウォール、建具は全てオリジナルで造作しています。

しかし、決して贅沢な家ではありません。施主の予算に合わせ、コストパフォーマンスを意識しながら、宮城の省エネ基準を上回る住宅性能を実現しているのがポイント。Q値1.9、C値0.7と断熱性・気密性に優れているので冷暖房効率が良く、エアコンを使うのもわずかで済みます。加えて、階段の小窓や家事コーナーの横長の窓、子ども部屋のロフトにはのぞき窓などを設置し、採光や風通しに配慮。窓を開ければ風が通り抜けるよう設計されています。リビングには「火を見て暮らしたい」という要望で、ペレットストーブを採用。リンゴの家は、設備機器に頼らない自然の心地よさを叶えます。

- 1.住まいの「芯」となる吹き抜けのリビング。吹き抜けの腰壁は一部を木製のスリット状にして、1階から2階ホールの様子が見えるように配慮
- 2.ダイニングから和室を見る。コンパクトながら広がりを感じる間取り
- 3.独立型のキッチンにはワークスペースとなるカウンターを造作
- 4.天井高を2.2mに抑えた和室。地窓がより落ち着く空間を演出
- 5.ロフト付きの子ども部屋は、部屋に籠もらないようあえて小さく。それぞれ3畳大の広さにした
- 6.吹き抜けに面するカウンターや広めの2階ホールは、多目的に使える便利な空間
- 7.無垢材のぬくもりが迎える玄関。収納もたっぷり確保
- 8.南面外観。シンプルな箱型のフォルムに木の質感をプラス

平面図



chikaku no ki to shokunin de tsukuru iezukuri  
 近くの木と職人でつくる家づくり

問い合わせ先事務局  
 (有)伊藤工設計  
<http://www.gikoban.co.jp/>  
 利府町加瀬字南浦4  
 TEL. 022-356-9460